



# Gold Standard<sup>®</sup>

ボランタリーカーボンクレジットの活用について

2026年3月5日



## GOLD STANDARD

Gold Standardは、気候の安全保障とグローバル目標の達成に向けて、**最大限のインパクト**創出に取り組んでいます。

- 2003年にWWFおよびその他のNGOによって設立
- ジュネーブに本部を置くスイスの非営利団体
- 幅広いNGOサポーターネットワークから支持を獲得
- ICVCMおよびCORSIAの承認を取得

✧ 550人+

プロジェクト開発者

✧ 4000+

100か国以上での  
プロジェクト数

✧ 4.5億トン+

CO<sub>2</sub>e削減量

✧ \$700億+

創出された共有価値

# GOLD STANDARDが意味するもの



## ステークホルダーの包括的参画

- すべての関連ステークホルダーに対し、プロジェクト開始前に直接的なコンサルテーションを必ず実施しなければならない
- すべての関連ステークホルダーが、プロジェクトのライフサイクル全体を通じて、正式に関与できる参画チャンネルを設けなければならない

## SDGsと連動した包括的インパクト

- すべてのプロジェクトおよび主張されるインパクトは、ベースラインとの比較に基づいて評価される
- インパクトは最低3つのSDGsを対象とする必要があり、そのうち1つはSDG13（気候変動対策）でなければならない

## 意図しない負の影響を防ぐための厳格なプロジェクトセーフガード

- プロジェクトは、そのライフサイクル全体を通じて、分野別のセーフガード要件を遵守しなければならない

## 確実な成果

- 独立した第三者監査機関（GS認定バリデーション・検証機関:VVB）による保証



# 排出削減を超えたインパクト

## 事例：クリーンな調理器具の普及



出典：SSM



バイオマス燃料の使用量削減と  
薪・木炭の購入費用の節約

室内の煙による大気汚染の低減

薪の収集にかかる時間の節約  
(多くの場合、女性や女兒が  
担っていた作業)

調理器具の製造・流通による雇用創出

バイオマス消費量の削減による  
森林破壊の抑制

# 多様な方法論、多様な市場

- **40以上の、Gold Standard 方法論**（加えてUNFCCCで認められた方法論も含む）が対象とする分野：

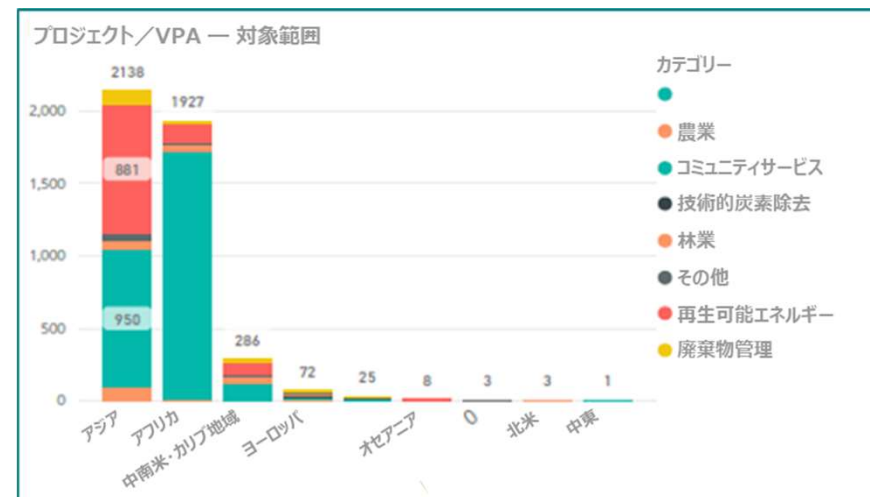
- コミュニティサービス
- 再生可能エネルギー
- 森林・土地利用
- 農業
- ブルーカーボン
- 廃棄物管理
- 輸送
- 技術的炭素除去

- **複数のコンプライアンス市場での適格性**

ボランタリー市場に加え、以下の制度市場で適格性を有する：

- CORSIA (フェーズ 1 及び 2 :2027年～29年)
- シンガポール炭素税制度
- コロンビア炭素税制度
- チリ炭素税制度
- 南アフリカ炭素税制度

- **東京都との連携により**、東京都が運営するマーケットプレイスにおけるクレジットの取扱いを下支え



# 変化する市場における継続的な進化



## パリ協定との整合

- パリ協定の目標および第6条のルールに準拠するよう、すべての方法論を更新
- 第6条およびCORSIAのもとでの Gold Standard の活用を支援



## スコープの拡大

- 技術的炭素除去、農業、ブルーカーボン、運輸分野における新たな方法論を導入
- 新規方法論をICVCMコアカーボン原則と整合させることを目指す



## デジタルによるモニタリング・報告・検証 (dMRV)

- プロジェクトインパクトの計測・検証に dMRVツール試行導入を実施
- クリーンクッキング、安全な水供給、廃棄物管理、農業、炭素除去の分野における12プロジェクトで実施



## 基盤強化

- 相互運用性の向上および新たな市場サービスの実現に向け、Gold Standardのインパクト登録基盤 (Impact Registry) の機能拡充を推進
- 新たな保証プラットフォームおよびSDGインパクト算定ツールの導入に続く取り組み



お問い合わせはこちら

[Help@goldstandard.org](mailto:Help@goldstandard.org)